

建設情報 Iwate

し尿処理施設の方向性検討

25年度の主要事業 浄水場3期整備は見直し

奥州金ヶ崎行政事務組合（管理者・倉成淳奥州市長）の25年度予算は、一般会計の総額が45億1045万5000円で、前年度当初と比較して15.4%の増となった。25年度の建設関連としては、さくら苑の空調設備更新や一般廃棄物処理施設整備の基本構想策定などを計画する。胆江広域水道用水供給事業については、たんこう浄水場の毒物監視装置更新工事を予定するほか、浄水場3期整備の見直しを進める。

25年度予算は、組合事業の着実な推進を図るとともに、20年度に策定した財政計画に沿い、策定時の計画値の見直しを含め、行財政改革に取り組んでいる構成市町と歩調を合わせ、限られた財源の計画的かつ重点的な配分などによる効率化および合理化に努める。

住民生活の基盤を支える日常業務を堅実に遂行しつつ、施設の維持管理や消防車両の更新など、業務の遂行に必要な老朽化対策を適切に進めていく。

主な事業を見ると、衛生費は広域火葬場で、維持・補修が困難になりつつある館内空調設備の更新に着手するほか、ごみ焼却施設やし尿処理施設の維持補修なども計画的に進めていく。消防関係では、県内10消防本部による指令業務の共同運用を図る、いわて消防指令センター統合整備について、26年度からの運用に向けて機器設置等の整備工事を行う。

このほか、し尿処理施設の現施設が供用から26年経過し、設備の老朽化が進行していることから、施設の機能保全と適正な維持管理に努めながら、次期施設整備に係る方向性を、引き続き検討していく構えである。

最終処分場についても、埋立地が23年度末で54%の埋め立て進捗状況となっていることから、現在の最終処分場の延命化、次期最終処分場の整備に向けた調査・検討を進めるとしている。

胆江広域水道用水供給事業会計は、水道施設の適切な管理を行い、水道用水の安定供給に努めていく。事業としては、たんこう浄水場の毒物監視装置の更新工事など。浄水場の3期整備については、

2028年度の整備完了が厳しい見直しとなったため、構成市町と協同し設置する検討組織により、今後の事業の見直しを早急に進めることとしている。

奥州金ヶ崎行政事務組合の25年度予算の概要は次の通り。金額の単位は千円。

◇一般会計	
＜衛生費＞	
▽火葬場管理費	
・委託料	43,905
消防設備点検業務委託料〔121〕、自動ドア点検業務委託料〔55〕、非常用発電設備点検業務委託料〔638〕、火葬設備精密点検業務委託料〔578〕ほか	
・工事請負費	37,719
火葬場空調設備更新工事、火葬場維持補修工事	
▽広域交流センター費	
・委託料	23,503
消防設備点検業務委託料〔61〕、自動ドア点検業務委託料〔60〕、ボイラー点検業務委託料〔88〕、排ガス分析業務委託料〔63〕、循環ろ過装置点検業務委託料〔242〕ほか	
▽清掃総務費	
・委託料	12,325
環境整備業務委託料〔1,325〕、一般廃棄物処理施設整備基本構想策定業務委託料〔11,000〕	
・負担金、補助及び交付金	1,245
地元振興費補助金〔720〕、最終処分場建設工事費負担金〔71〕ほか	
▽可燃ごみ処理費	
・委託料	164,415
消防設備点検業務委託料〔1,263〕、自動ドア点検業務委託料〔197〕、非常用発電設備点検業務委託料〔5,060〕、高圧電気設備精密点検業務委託料〔1,127〕、電気計装設備点検業務委託料〔803〕、排ガス・ごみ質分析業務委託料〔1,386〕、計量機点検整備業務委託料〔529〕、電動シャッター点検業務委託料〔147〕、焼却灰等運搬埋立整地業務委託料〔17,111〕、ダイオキシン類調査業務委託料〔912〕、排ガス自動分析計点検整備業務委託料〔6,366〕、環境測定業務委託料〔1,351〕ほか	

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL (019) 623-8201
FAX (019) 623-8204

・工事請負費	325,090
ごみ焼却施設維持補修工事	
▽粗大ごみ処理費	
・委託料	8,621
消防設備点検業務委託料〔129〕、高圧電気設備精密点検業務委託料〔522〕、粗大ごみ組成分析業務委託料〔440〕、作業環境測定業務委託料〔180〕、電動シャッター点検業務委託料〔96〕、焼却灰等運搬埋立整地業務委託料〔2,421〕、高圧接触器点検業務委託料〔180〕ほか	
・工事請負費	9,207
粗大ごみ処理施設維持補修工事	
▽し尿処理費	
・委託料	85,479
消防設備点検業務委託料〔710〕、自動ドア点検業務委託料〔654〕、非常用発電設備点検業務委託料〔807〕、無停電電源装置点検整備業務委託料〔154〕、高圧電気設備精密点検業務委託料〔395〕、電気計装設備点検業務委託料〔2,822〕、計量機点検整備業務委託料〔501〕、焼却灰等運搬埋立整地業務委託料〔497〕、し尿放流水水質検査業務委託料〔339〕精密機能検査業務委託料〔6,600〕、局所排気装置点検業務委託料〔178〕、環境測定業務委託料〔20〕ほか	
・工事請負費	159,710
し尿処理施設維持補修工事	
▽最終処分場費	
・委託料	4,911
消防設備点検業務委託料〔18〕、環境整備業務委託料〔616〕、排ガス分析業務委託料〔223〕、焼却灰等運搬埋立業務委託料〔935〕、水質検査業務委託料〔868〕、環境測定業務委託料〔659〕ほか	
・工事請負費	5,386
浸出水処理施設維持補修工事、発生ガス対策設備工事、汚泥脱水機維持補修工事	
＜消防費＞	
▽常備消防費	
・委託料	26,521
非常用発電装置点検整備業務委託料〔1,488〕、作業環境測定業務委託料〔100〕ほか	
・工事請負費	4,099
水沢消防署前沢分署屋上防水補修工事、水沢消防署胆沢分署高圧気中開閉器等交換工事	
▽消防施設費	
・負担金、補助及び交付金	724,671
共同消防指令センター整備事業負担金〔719,231〕ほか	
◇胆江広域水道用水供給事業会計	

〔水道用水供給事業費用〕	768,661
＜営業費用＞	
▽原水及び浄水費	
・修繕費	14,611
たんこう浄水場水中ポンプ整備補修ほか	

・負担金	14,341
胆沢ダム管理費負担金	
▽送水費	
・委託料	18,031
万松寺ポンプ場計装設備保守ほか	
・修繕費	11,880

送水ポンプ分解整備補修、送水管漏水修繕ほか	
〔資本的支出〕	299,237
＜建設改良費＞	
▽施設改良費	
・工事請負費	26,928
毒物監視装置更新工事ほか	

24年発生 of 公共土木施設 災害復旧事業の査定結果 ⑦

24年に発生した公共土木施設災害復旧事業査定結果は以下の通り。地区名に続き①区分②河川・路線名称③決定延長④決定工種⑤異常気象名の一の順。

〔宮古市役所〕
▽宮古市田老新田平①道路②その他市道跡の沢・畑線③4.5m④コンクリートブロック積み工⑤2m、小口止工4m、路盤工5m⑥台風第5号（8月10日～8月13日）
▽宮古市松草①道路②その他市道松草線③16.0m④コンクリートブロック積み工⑤64m、表層22m、ガードレール工16m⑥梅雨前線豪雨（7月23日～7月30日）

〔花巻市役所〕
▽花巻市東和町東晴山の2①河川②準用河川添市川③36.0m④コンクリートブロック積み工104m、張芝工7m、盛土工30m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）
▽花巻市東和町石鳩岡の3①河川②準用河川添市川③46.0m④コンクリートブロック積み工164m、張芝工7m、盛土工30m、張芝工7m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）
▽花巻市東和町石鳩岡の4①河川②準用河川添市川③43.0m④コンクリートブロック積み工143m、盛土工20m、張芝工40m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）

号（8月22日～9月3日）
▽花巻市東和町石鳩岡の2①河川②準用河川添市川③36.0m④コンクリートブロック積み工104m、張芝工7m、盛土工30m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）
▽花巻市東和町石鳩岡の3①河川②準用河川添市川③46.0m④コンクリートブロック積み工164m、張芝工7m、盛土工30m、張芝工7m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）
▽花巻市東和町石鳩岡の4①河川②準用河川添市川③43.0m④コンクリートブロック積み工143m、盛土工20m、張芝工40m⑤台風第10号（8月22日～9月3日）

日刊岩手建設工業新聞ウェブサイト
Nikkan Iwate Web
http://www.nikkaniwate.co.jp/

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



図上訓練と現地確認

岩手大学理工学部システム創成工学科助教

松林 由里子

2月初めに、岩手大学理工学部の地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉の学生を含む2年生数名と院生、教員3名で釜石市に向かい、釜石市鈴子町内からの津波からの避難行動についての研修を行った。釜石市役所の共同研究員、危機管理監の方々に、避難場所を案内していただき、学生が検討した津波避難対策について質問とコメントをいただいた。

この研修は、理工学部システム創成工学科社会基盤・環境コースの演習科目である地域創生課題演習Ⅱの学習内容を深めることを目的として行われた。演習では、釜石市内で地震発生後に津波が到達する条件で、図上訓練のMM（マップマヌーバー）の手法を使って津波避難対策や事前準備について検討した。また、地震発生から津波到達までの限られた時間内に、釜石市鈴子町内の店舗から数十人が安全に避難場所までたどり着くまでのタイムラインを作成した。避難完了まで起こる災害時の状況を想定することから始まり、地震の揺れによる建物被害や火災に対応しながら、けが人や支援が必要な人を含む数十人を、どうやって安全に避難誘導するか、班ごとに話し合い、結果の発表までを、講義室内の演習で行った。

釜石市内を対象にすることや、講義室での図上訓練後に、学生と現地を確認することは、退職された越谷先生が発案されたように記憶している。今年度、実現した研修で、それぞれの学生が、図上訓練での

不明点・疑問点を解決し、現地での気づきを得て、図上訓練の結果を現実と結び付け、防災対策について学びを深める機会となった。釜石市危機管理監の方から、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震で発生する津波による浸水想定範囲の変更、それともなう住民の避難計画・訓練に関する課題、避難場所の開設手順など、検討を重ねて対応を更新・改善し続けていることなどを伺った。

図上訓練で、災害時の状況を想像しながら対応を検討したからこそ、現地を見て気づくこともあった。避難場所まで、けが人を担架に載せ、または、背負って上ることを想定していた段階も、実際に上ってみると、思っていたより急で狭く感じた。浸水が想定される地域で、建物内にも危険性を伝える看板を設置したほうが良いと思った、という声もあり、あらためて、図上訓練と現地確認の組み合わせの重要性を感じる研修だった。

個人的に軽いショックを受けたのは、多くの学生が避難場所である建物5階までの階段を、会話しながら軽やかに上っていく後方で、階層を上がることに、息切れと、足の重さを感じていたことだ。職場の階段を使って、いざというときに逃げられる体力をつけておこうと思った。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

2024年版 岩手建設年鑑

好評発売中!!



定価(税込) **22,000円**

23・24年度 格付を掲載 (検索可能なCD-ROM付)



検索(地域別・業種別・格付別)
主な業界団体構成員が検索できます
二次加工(プリントアウト)できます

お申し込みは
(株)日刊岩手建設工業新聞社
☎(019)623-8201
www.nikkaniwate.co.jpから

わたしたちは、コンクリート製品を通じて、これからも社会発展に貢献していきます。



共和コンクリート工業株式会社
本社 〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西3-28 札幌エムプラザ TEL 011-736-0181
岩手支店 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3丁目7-1 岩手政経ビル4階 TEL 019-652-3715

穴掘建柱車の操作に必要な車両系建設機械(基礎工用)技能講習実施中
日程・ご予約はhpへ

0192-55-3990 検索
資格のことなら!
ご宿泊案内・受験申請手続き・人材開発支援助成金証明など、お手伝いいたします。

岩手県 陸前高田市 高田自動車学校
三陸技能講習センター

塗装なら **641-3355** にお電話下さい。
内外装吹付・建築・橋梁・鉄骨・防水



一般社団法人 日本塗装工業会会員
岩手県塗装工業組合員

O-SI 塗装工業株式会社
〒020-0125 盛岡市上堂三丁目9番23号
TEL (019) 641-3355(代)